

## 卒業・修了生のみなさんへ

卒業生、修了生の皆さん、ご卒業、修了おめでとうございます。新型コロナウイルスへの対応も2類からインフルエンザ並みの5類へと移行する段階になりました。長いトンネルの中、暗中模索しようやく出口に辿り着いた感があります。今後コロナ禍前の日常に戻る所もあるでしょうし、オンラインへの比重をたかめる所もあるでしょう。皆様は就職、研究、教育、その他へとコロナ禍前とは違った門出を迎えます。いずれの道に進むにしても、又、順風満帆の時も予期せぬ事が起きた時も、常に事実をみつめ正しく把握する事が大事です。とくに想定外の事が起きると、あわてて誤った情報やむやみやたらな想像にふりまわされ、それを事実と誤認し、判断し、思いもよらぬ結果を引き起こす事につながります。大本山總持寺で檀家さん用によく読まれる「修証義」というお経の中の第12節の中に「徒らに所逼を怖れて・・・外道の制多に帰依すること勿れ」と説かれています。さし迫った事に恐れるあまり、間違った教えを信じてしまわないようにという事です。脚下照顧し、事実をみつめましょう。今は空も見なければならぬ時代ですが、それも含めて脚下照顧です。本物があるという事です。建学の精神「大覚円成 報恩行持」万物の存在の尊厳性の中、人は慈しみ生かされています。感謝の心を忘れずにそれに報いてまいりましょう。自分の意見・思いを述べ、実行するにしても価値観の多様性を鑑みる事が肝要です。「大覚円成」というまぎれもない事実の中と、皆様には新しい門出を迎えられた事、衷心よりお祝い申し上げます。

おめでとうございます。

令和5年3月14日

鶴見大学・鶴見大学短期大学部

学長 中根正賢

